小計	50	50	—
⑷　立替金	49		—
貸倒引当金	△　0		
小計	48	48	—
⑸　研究業務未払金	(7,536)	(7,536)	—
⑹　未払金	(2,905)	(2,905)	—

（注１）　負債に計上されているものは、(　) で示しております。金額は四捨五入によっているため合計と一致しないものがあります。

（注２）　金融商品の時価の算定

⑴　現金及び預金、⑵　研究業務未収金、⑶　未収金、⑷　立替金、⑸　研究業務未払金、⑹　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

Ⅶ．賃貸等不動産の時価等

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅷ．減損損失関係

１．当事業年度において減損を認識した固定資産は以下のとおりです。

①減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途	種類	場　所	減損前帳簿価額	減損価額	減損後帳簿価額
北海道センターＥ３棟及び附属設備	建物等	北海道札幌市豊平区月寒東２条17－２－１	3,154,952円	3,154,943円	9円
つくばセンター西－２Ｃ棟及び附属設備	建物等	茨城県つくば市小野川16－１	59,558,332円	59,558,300円	32円
つくばセンター東－２Ｅ棟及び附属設備	建物等	茨城県つくば市並木１－２－１	57,739,258円	57,739,227円	31円
関西センター尼崎支所建物及び附属設備等	建物等	兵庫県尼崎市若王寺３－11－46	1,462,875,317円	1,462,875,066円	251円
関西センター尼崎支所敷地	土地	兵庫県尼崎市若王寺３－11－46	2,803,248,350円	1,163,248,620円	1,639,999,730円

②減損の認識に至った経緯

北海道センターＥ３棟及び附属設備、つくばセンター西－２Ｃ棟及び附属設備、つくばセンター東－２Ｅ棟及び附属設備は、経年劣化による老朽化が顕著であるなど倒壊等による危険防止等に鑑み、閉鎖することを決定いたしました。関西センター尼崎支所の建物等及び敷地は、他の施設へ機能を集約し業務を継続することから、閉鎖することを決定いたしました。

③減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産の内訳

用　途	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
北海道センターＥ３棟及び附属設備	0円	3,154,943円
つくばセンター西－２Ｃ棟及び附属設備	0円	59,558,300円
つくばセンター東－２Ｅ棟及び附属設備	0円	57,739,227円
関西センター尼崎支所建物及び附属設備等	741,600円	1,462,133,466円
関西センター尼崎支所敷地	0円	1,163,248,620円

④回収可能サービス価額

北海道センターＥ３棟及び附属設備、つくばセンター西－２Ｃ棟及び附属設備、つくばセンター東－２Ｅ棟及び附属設備は、取り壊し処分を予定しているところから、備忘価額をもって回収可能サービス価額としております。関西センター尼崎支所の建物等及び敷地は、国庫納付を予定していることから、不動産鑑定評価額を基礎として算定した額としております。

２．当事業年度における減損の兆候については以下のとおりです。

【東京本部小金井支所】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：東京本部小金井支所及び附属設備

種類：建物等

場所：東京都小金井市中町２－24－16　東京農工大学内

②使用しなくなる日

平成28年度以降に閉鎖を予定しておりますが、閉鎖予定日については未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

東京本部小金井支所及び付属設備は、プラスチックを用いた「軽く」「薄く」「割れにくい」基板材料を開発するとともに、多機能複合化部材を一体的に作り込むことによって、部品点数の削減やコスト低減等を実現し、高い国際競争力を有する次世代モバイル用基板材料を開発することを目的として使用してきましたが、平成24年度末に目的を達成し共同研究が終了したため、建物等を処分することといたしました。

④将来使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込み額

資産名称	帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額の見込み額
建物等	390,875,290円	390,875,290円	無し

閉鎖の時期が決定しておりませんので、帳簿価額及び回収可能サービス価額については、当事業年度の期末簿価価額を計上しております。

【北海道センターＥ６棟】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：北海道センターＥ６棟及び附属設備

種類：建物等

場所：北海道札幌市豊平区月寒東２条17－２－１

②使用しなくなる日

平成28年度以降に閉鎖を予定しておりますが、閉鎖予定日については未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

北海道センターＥ６棟及び附属設備は、耐用年数を超過し、老朽化が著しく継続使用するには高額な老朽化対策費が見込まれる建物であることから改修せず、他の施設を使用して業務を継続することといたしました。